

平成30年第3回

# 伊根町議会定例会会議録

平成30年9月11日（第2号）

伊 根 町 議 会

# 平成30年 第3回 (定例会)

## 伊根町議会 会議録 (第2号)

招集年月日	平成30年 9月11日 火曜日						
招集場所	伊根町コミュニティセンター ほっと館 ふれあいホール						
開閉の日時 及び宣告者	開会	平成30年 9月11日 9時26分			議長	泉 敏夫	
	散会	平成30年 9月11日 10時45分			議長	泉 敏夫	
応(不応)招 議員及び 出席並びに 欠席議員	議席番号	氏名	出欠	議席番号	氏名	出欠	出席 9名 欠席 0名
	1	和田 義清	○	6	大谷 功	○	
	2	藤原 正人	○	7	佐戸 仁志	○	
	3	濱野 茂樹	○	8	上辻 亨	○	
	4	松山 義宗	○	9	泉 敏夫	○	
	5	山根 朝子	○	10			
地方自治法 第121条 の規定によ り説明のた め出席した 者の職氏名	職	氏名	出欠	職	氏名	出欠	出席 10名 欠席 0名
	町長	吉本 秀樹	○	住民生活課長	石野 靖	○	
	副町長	小西 俊朗	○	保健福祉課長	須川 清広	○	
	教育長	石野 渡	○	地域整備課長	白須 剛	○	
	総務課長	鍵 良平	○	教育次長	梅崎 良	○	
	企画観光課長	上山 富夫	○	会計管理者	増井 和彦	○	
職務のため 出席した者 の職氏名	議 会 事務局長	倉 正人	○	主 事	池野 早紀子	○	
会 議 録 署名議員	1番	和田 義清		7番	佐戸 仁志		
議 事 日 程	別紙のとおり						
会 議 に 付 した 事 件	別紙のとおり						
会 議 の 経 過	別紙のとおり						

# 平成30年 第3回 伊根町議会定例会

## 議事日程 (第2号)

平成30年9月11日(火)

午前 9時26分 開議

日程第 1 会議録署名議員の指名

日程第 2 議案第43号 平成29年度伊根町歳入歳出決算認定について  
(質 疑)

## 会議に付した事件

日程第 1 会議録署名議員の指名

日程第 2 議案第 43 号 平成 29 年度伊根町歳入歳出決算認定について  
(質 疑)

## 会 議 の 経 過

平成30年9月11日(火)  
午 前 9時26分 開議

### ◎ 開会・開議の宣言

○議長(泉 敏夫君) それでは、ちょっと時間前でございますが、全員そろわれましたので、ただいまより第3回定例会を開催したいと思います。

まずは、おはようございます。

ただいまの出席議員は全員です。

これから本日の会議を開きます。座って失礼します。

本日の議事日程はお手元に配付のとおりであります。

### ◎ 日程第1 会議録署名議員の指名

○議長(泉 敏夫君) 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

本日の会議録署名議員は、会議規則第123条の規定によって、議長において

1番、和田 義 清 議員

7番、佐 戸 仁 志 議員を指名します。

以上の両議員に差し支えのある場合は、次の号数の議席の議員にお願いします。

### ◎ 日程第2 議案第43号

○議長(泉 敏夫君) 日程第2、議案第43号 平成29年度伊根町歳入歳出決算認定を議題とします。

初めに、質疑区分についてお諮りします。

慣例により、一般会計歳入歳出決算の歳入全般を一区切りとします。一般会計歳入歳出決算の歳出のうち、1款議会費から7款商工費までを一区切りとします。次に、8款土木費から14款予備費までを一区切り、合計3区切りとして質疑をお願いしたいと思います。

特別会計は、国民健康保険特別会計で、まず事業勘定の歳入歳出を一区切りとします。次に、伊根診療所勘定歳入歳出決算及び本庄診療所勘定歳入歳出決算を一括して一区切り、合計2区切りで質疑をお願いしたいと思います。

その他の特別会計は、会計ごとに区切って質疑をお願いしたいと思います。

以上のような区分で質疑をお願いしたいと思います。ご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(泉 敏夫君) 異議がないようですので、そのような区分で質疑をお願いします。

それでは、最初に一般会計歳入歳出決算の歳入全般を対象として質疑を行います。

これから質疑を行います。質疑どなたからでも結構ですのでお願いします。5番、山根朝子議員。

○5番(山根朝子君) 決算書の27ページで、し尿処理手数料の滞納繰越分なんですけれども、昨年度は1,398円と少なかったんですが、29年度は8万1千何がして大分増えているんですけども、これはどうしてなのでしょう。

○議長(泉 敏夫君) 石野課長。

○住民生活課長(石野 靖君) 滞納繰越分の収入額が増えたということですが、これにつきましては29年度決算でありますので、28年度で滞納繰越分が多くございまして、その分が29年度の滞納繰越分として収入があったことによるものでございます。

○議長(泉 敏夫君) 5番、山根朝子議員。

○5番(山根朝子君) ということは、すみません、平成28年度の分にすごくいっぱい滞納があった分が、29年度に滞納が改善されたということということですね。

○議長(泉 敏夫君) 石野課長。

○住民生活課長（石野 靖君） 単純にその年の未収分が翌年の滞納繰越分になりますので、そういう見方になろうかと思えます。

○議長（泉 敏夫君） ほかに質疑はありませんか。5番、山根朝子議員。

○5番（山根朝子君） すみません、決算書の41ページでふるさと納税のことなんですけれども、昨年はずごく1,943万7,000円と多くて、平成29年度は1,235万と大分減ったと思うんですけれども、総務省のほうでは返礼品がすごく豪華なので、ちょっと抑えなさいというふうなことも言われていて、そういうので伊根町もちょっとそういうのを抑えたので、減ったというふうに理解していいんでしょうか。

○議長（泉 敏夫君） 上山課長。

○企画観光課長（上山富夫君） 山根議員おっしゃいますとおり、平成29年度から返礼品の規制が総務省通知によって厳しくなったということでございます。それまでは、全国では金券のようなものもふるさと納税で返礼品として取り扱いがされておりましたが、町内でも宿泊券のようなものも出しておったんですが、29年度はそれらもだめだという総務省通知に基づいて実施をした結果、ふるさと納税の金額が減ったというものでございます。

○議長（泉 敏夫君） ほかに質疑はありませんか。質疑がないようではありますが、これで質疑を終わりたいと思えますが、ご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（泉 敏夫君） 異議なしとの声がありますので、異議なしと認めます。

これで質疑を終わります。

続きまして、次に、一般会計歳出の1款議会費から7款商工費までを対象として質疑を行います。2番、藤原正人議員。

○2番（藤原正人君） 決算書の61ページの定住促進事業なんですけれども、お試し住宅がことし本町にも予定されておるわけなんですけれども、28年度に1夫婦の方が本庄浜に移住され、また29年度も3組の方が利用されたということなんですけれども、いろいろと聞くわけなんですけれども、なかなか地元というか、地域になじめていないというか、関係が持っていないのを聞いているわけなんですけれども、今後、進めていく中でいろいろと課題があると思うんですけれども、どのように進めていくのかちょっとお聞きさせていただきたいと思えます。

○議長（泉 敏夫君） 上山課長。

○企画観光課長（上山富夫君） 藤原議員のご質問で、お試し住宅を利用される方々がなかなか地域になじめないというご質問かなというふうに思いますが、伊根町のほうではお試し住宅、募集がいつも多ございますので、抽せんなり移住希望理由を十分に勘案して、お試し住宅の利用者を決定させていただいております。決定して以降は、十分地元の区長さん、自治会長さん、それから近隣の皆様にも一緒に同行させていただいて、ご挨拶等もさせていただいております。それ以降、困ったことがありましたら伊根町役場にも連絡がありますが、十分、地元の地域の皆様方とも良好な関係を築いてお試し住宅の利用をお願いしますということで、十分なフォローは伊根町のほうでさせていただいておるつもりです。

ただ、私どものほうではなかなか地元になじめていないというような声は具体的には聞かせていただいておりますが、自己で十分なじんでいただくということも、自己責任の部分も十分あるのかなというふうに考えているところでありまして、町としては十分対応はできておるというふうに考えております。先ほど本庄のお試し住宅の話もありましたが、今後についても十分なフォローはできる限りのことを町としてやっていきたいというふうに考えております。

以上です。

○議長（泉 敏夫君） 2番、藤原正人議員。

○2番（藤原正人君） いろんな関わり方があると思うんですけれども、行政としてはどこまで関わっていただいたらいいのかという、期待感とかそういうのはないですか。例えば自治会の仕事にちょっと参加してもらおうとか、そこまではしてもらわんでもいいような格好ですか。ただそこに住んで、生活して過ごすという格好だけでいいのか、何かちょっと成果が余り見えていないので、いろいろと話を聞く中で。

○議長（泉 敏夫君） 上山課長。

○企画観光課長（上山富夫君） お試し住宅のそもそもの考え方は、伊根町の生活を知っていただくということはもちろんですが、伊根町での例えば職を探していただくこと、伊根で今後住みたいから、仕事をベースに一番最初に考えていただくというふうなことをコンセプトに考えておりますので、それからなかなかべったり伊根町のほうにおられない、今までの方ではお試し住宅の利用者もいらっしゃいますので、そこで必ず伊根町のほうでは地域の行事に出てください、必ず出てくださいということは、なかなか申し上げることは難しいのかなと。もちろん移住していただければ、地域の住民とともに地域の活動に取り組んでいただくということは当たり前だと思いますが、なかなかお試し住宅を活用いただく、利用いただく中では、そこまで町のほうとして規制というんですか、縛りかけるといことは難しいのかなというふうに考えておるところです。

○議長（泉 敏夫君） すみません、決算会計ですので、質疑のほうがちよとずれておるような気がしますので、またそこら辺もあわせて質疑のほうをよろしくお願ひしたいと思います。

続きまして、ほかにご質疑ございませんでしょうか。1番、和田義清議員。

○1番（和田義清君） 同じく定住促進事業で、決算付属書の18ページ、(4)番の移住希望者向け冊子の「伊根と暮らす」、事業費30万2,400円で作成部数が2,000部というふうにご説明していただいております。こちらに關しましては移住者向けの冊子ということで、私のほうも1部ちょっと資料としていただいておりますけれども、これは1年ごとにつくって、移住者向け、何年間分をという見越してつくられたのか、ちよとその辺をお伺ひしたいんですけれども。

○議長（泉 敏夫君） 上山課長。

○企画観光課長（上山富夫君） 移住者向けの冊子の作成についてですが、作成部数2,000部を作成させていただきましたが、伊根町としては単年度ということでは決して考えておるわけではございません。特に都会のほうで移住者相談ですとか、移住向けのいろんなイベントがございますが、そうしたイベントでさっささっ配るといようなことは考えておりません。もう少し真剣にというんですか、伊根町で本格的に相談があった場合、また東京、京都等での移住の相談窓口にも本格的に相談に来られたような方々に向けということで、作成をさせていただきます。伊根町役場に来られた方にも直接この冊子については配布をさせていただきますが、さっささっチラシのように配るものではなく、数年間はこれが使えるものだというふうに考えて、2,000部と作成をさせていただきました。

○議長（泉 敏夫君） 1番、和田義清議員。

○1番（和田義清君） ありがとうございます。

強く移住される方を見極めて渡しているということですね。ちなみに、今2,000部つくられて、大体どれぐらい来られたか、ちゃんとした数字じゃなくていいです。

○議長（泉 敏夫君） 上山課長。

○企画観光課長（上山富夫君） すみません。概数もなかなか手元に資料がありませんので把握はできておりませんが、一定数は移住担当者が入っているところは確認させていただいております。先ほど申しあげました東京、京都のほうへのコンシェルジュにも、必要部数送付をさせていただきます。

○議長（泉 敏夫君） ほかに質疑はありませんか。8番、上辻亨議員。

○8番（上辻 亨君） 商工費のほうで、付属書のほうでは73ページ、伊根町舟屋の里公園公衆トイレ新設ということで、新しいトイレができたわけですが、私たちみんなで視察に行ったときに、入ったちよと真正面にちよと危ないような箇所があったんで、そこをどうかされたのかというのが1点と、あと1つ、今現在、前あったトイレ、そのトイレをどのようにされるのか、古いトイレを、されるんでしょうか、お聞きしたいです。

○議長（泉 敏夫君） 上山課長。

○企画観光課長（上山富夫君） 上辻議員から今2点のご質問をいただきました。

まず、新設のトイレの部分でございます。トイレの多分、男子トイレと女子トイレの間の正面の、あのときに危ないと言われておった部分でございますが、業者のほうと、また管理いただいております振興公社とも調整はさせていただきますが、まだちよと具体的な動きができていない

ところでは、再度、具体的な安全確保のためのちょっと手続を進めたいというふうに思います。

それから、従来ありましたお土産物、伊根浦漁業の裏にあったトイレのことだろうというふうに思うんですが、あそこの指定管理をしておりますふるさと振興公社にも、何か活用がないのかという照会はさせていただいておるんですが、具体的に今まで上がってきておりません。が、さらに現在、次年度からの指定管理者の今公募をかけておるところでございます。ただ、もう今の時期になりましたので、新たな指定管理者と十分な利用、活用方法について見きわめていくことが必要かなというふうに考えておりますので、当面は多分動くことはできないのかなというふうに考えております。

ただ、あそこのトイレを閉めたことで、トイレについては何ら問題なく、今の新設のトイレで十分だというふうに思っておりますので、何らかの今まであった従来のトイレについては、活用方策を次期指定管理者と調整ということになるのではなかろうかというふうに考えております。

○議長（泉 敏夫君） ほかに質疑はありませんか。1番、和田義清議員。

○1番（和田義清君） 決算付属書の22ページ、温泉管理費なんですけれども、一番下の29年の奥橋立伊根温泉4号源泉温泉業務管理費で、六万部なんでケアハウスか泊泉苑かどちらかと思うんですけれども、修繕3件、13万3,920円上がっておるんですけれども、この修繕の内訳内容を簡単に教えていただけますか。

○議長（泉 敏夫君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） 温泉管理費の修繕工事3件でございます。

長寿苑の施設の手前のほうでは漏電がありましたんで、その漏電修理と、あと泊泉苑では定水位弁という水位の弁の故障がありましたんで、その修繕、それから同じく泊泉苑での排気弁ということで、弁の修繕2カ所と漏電関係で1カ所ということで、3件の工事を行っております。

○議長（泉 敏夫君） 8番、上辻亨議員。

○8番（上辻 亨君） 6款農林水産業費ということで、付属書のほうでは66ページ、有害鳥獣対策事業ということで、新井地区だったと思うんですけれども、テキサスゲートいうのを設置されたという説明していただいたと思うんですけれども、うちのほうもイノシシにはすごい困っております。テキサスゲートを設置したことによって、効果、そういうのがわかれば教えていただきたいんですけれども。

○議長（泉 敏夫君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） 決算付属書の一番下段の農林業活性化補助金1団体でございます。

新井地区にテキサスグレーチングを設置ということで、事業費の7割補助ということで168万8,000円支出しております。大変高額な工事費となりますので、1カ所だけ試験的に実施をさせていただきました。地元のほうで効果のほうを聞きましたところ、やはり最初は1回獣が入ったと。ここは全国どこでも1回は入るんです。やっぱり入ったことないんで。その後はやっぱりもう出るのも苦労した、入るときも穴の中に足突っ込んだということで、2回目以降はちょっと入った感じがなかったということで、結構効果があったのかなと思っております。

しかしながら、かなり高額ですので、なかなか次の箇所というふうにも一歩を踏み出せないなという。もう少しちょっと状況を見て、本当にこれでいけるかなということになったら、また次の地区ももしどうしてもという希望があればしていきたいと思いますが、今のところもうしばらく見守っていききたいなと思っております。

○議長（泉 敏夫君） 8番、上辻亨議員。

○8番（上辻 亨君） 効果があれば、次のしてほしいところも多分あると思うんで、ぜひ進めていってほしいと思います。

以上です。

○議長（泉 敏夫君） ほかに質疑はありませんか。6番、大谷功議員。

○6番（大谷 功君） 同じく関連の質問なんですけど、ワイヤーメッシュ柵をここ近年導入されていまして、広範囲に柵ができておるわけなんですけど、どうも見ておりますと破られて、修繕、修繕されておられる集落が多いように思うんです。このワイヤーメッシュ柵をもう少し何か検討する余地が今あるのかなのか、課内で検討されておるのか、ちょっとそこら辺についてお聞かせください。

い。

○議長（泉 敏夫君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） ワイヤーマッシュ柵に限らず、電気柵でも入られるところは入っているということで、皆さん入られた後はまたそのさらに強化をしていくということで、追いかけてごっこみたいな格好で大変苦勞しておられると思います。入られるにはやっぱり要因があるということで、専門家にもよく事例としてお聞きするんですが、やはりそれなりの要因がありますので、正しく設置すれば防げるということは専門家もおっしゃっていますので、毎年、講習会、研修会を行っておりますので、そこでまたそういう事例がありましたら出していただいて、何が悪かったのか、設置の仕方がどこがどうだったのかということを検証していただけたら、解決できるのかなという部分が大半だと思いますので、やはり研修にも参加していただいて、そういう実際の事例を持ってきていただいたら、さらに研修が実のあるものになるかなと思っていますので、またそういうところがありましたら、議員のほうでもご協力をお願いしたいと思います。

○議長（泉 敏夫君） ほかに質疑ございませんか。4番、松山義宗議員。

○4番（松山義宗君） 不用額についてちょっとお伺いしたいと思います。

106、107ページです。診療施設費で、補正のときに減額されているにもかかわらずお金が余っていると。これをお聞きしたいのが1つ。

それから、次のページ、108ページ、109ページの塵芥処理費についてお伺いします。付属書のほうでは57ページで、委託先ということでもいろいろ分けて書かれているんですが、これというのは全て数量、分量、ごみの量によって契約をされたものなのか、毎年こんなものだからということで契約をされていたのかお聞きしたいと思います。

○議長（泉 敏夫君） 石野課長。

○住民生活課長（石野 靖君） 松山議員から2点、診療所の不用額のところと、塵芥処理の関係の各契約に基づいてのあたりだと思んですが、まず診療所についてお答えさせていただきます。

何分この会計での予算の大半を占めておりますのは、診療所勘定への繰入金になります。伊根診療所と本庄診療所でございます。それぞれ診療所での予算を計上する場合、診療収入、診療報酬的な入りが見込めるものは、予算上若干少な目に、歳出予算は若干多目にとというのが予算編成のルールかなと思っています。その差額を埋めますのが、一般会計からの繰入金、診療所勘定でいうところの繰入金になってきまして、決算といいますか、年度をくくったときに、見込んでいたよりも診療収入があつたり、実際、歳出が伴わなかったことがあつて、その差が生じて一般会計からの繰り出しが少なくなったというところで、不用額が生じていると感じております。

続きまして、塵芥処理の関係ですが、今回、多額の不用額が出たのはどこかといいますと、塵芥処理費全体で1,500万円の不用額のうち、占めておりますのが負担金の1,200万になろうかと思っています。では、負担金がどこの事業であるかといいますと、一番初めに上がってきます宮津与謝環境組合負担金が大半を占めていることになります。これは1市2町で組合を設置しています今現在建設中の清掃工場の建設に係る1市2町の負担金になりまして、清掃工場側が最後決算を打つときに、幾らの負担を本町に求めるかによって変わってきます。その場合、補正予算を組むことも可能かとは思いますが、これに占めます財源が起債、町債、借金のほうということになりますので、負担金を払わないなら起債も発行しない。予算上、相殺できるものでありますので、補正をすることなく負担金を低額に抑え、起債の発行を行わなかったというような決算になろうかと思えます。

委託料につきましては、付属書のほうで一覽で示しておるものですが、例年の見込みに基づいて予算要求しております。その結果、かかった費用を執行しているということで、29年度もおおむね例年どおりの内容でございました。金額につきましては、振興公社への収集運搬は予算とほぼ同額になりますが、宮津市清掃工場、2段目の宮津市へ支払っております清掃工場の管理運営業務になると、ごみ量によって支払う金額は変わってきます。同様に一番下の一般廃棄物運搬及び処理業務、三重中央開発につきましても、搬出したごみの量によって委託の金額は変わってきます。そのほかは、大体契約に基づいての金額になってきます。

○議長（泉 敏夫君） 4番、松山義宗議員。

○4番(松山義宗君) 不用額についてはわかりました。この不用額というのは、その後どういった扱いになるのかというのもちょっとお教え願いたいんですけども。いろいろなところに全て不用額というのがありますよね。

それと、ごみ処理に関してなんですけれども、量によって金額が決まるということを今おっしゃっていますけれども、伊根町のごみの量というのは減っているんですかね。増えている、減っているでいうのであれば、減っているのであれば、ふるさと振興公社さんに対する委託金というのも減っていくのかなと思うんですけども、そのあたりはどうですか。

○議長(泉 敏夫君) 鍵課長。

○総務課長(鍵 良平君) それでは、まず私のほうから不用額の処理についてお答えをいたします。

ただいまの松山議員のご質問の中にありまして、それに対する石野課長の答弁にありましたように、歳入が歳出に伴って計上されておりますもの、全で一応、歳入、歳出一致しておるんですけど、先ほどのように歳出の負担金に対して、財源手当てとして地方債、町債を計画しておりますものにつきましては、不用額として出ておりますが、見合う町債を発行、金額を合わせておりますので、収入もそれにつれて少なくなっておるという状態になります。そのほかの事業等で一般論で申し上げますと、一般財源を充当しましたもので不用額が出ましたものにつきましては、歳入歳出の差し引きの実質収支の残という形で、決算書の中ではあらわれてくるということになります。

繰り返しになりますが、特定財源が歳入のほうに予定されておりますものにつきましては、歳出に合わせた特定財源の調節が行われますので、収入額がそれに合わせて減少するということになります。

○議長(泉 敏夫君) 石野課長。

○住民生活課長(石野 靖君) ごみの量が減るかどうかですが、単純に考えますと人口の減少に伴い、ごみの量は減少傾向にあるかと思えます。それに見合いますと、ふるさと振興公社へ委託しております収集運搬業務の金額のことかと思うんですが、ごみの量を集めたことによって振興公社さんへ業務を委託しているのではなく、住民さんが排出されたごみを回収し、処理場まで運んでいただくことを業務の委託としておりますので、ごみの量が減ったからといいまして業務時間の短縮に即つながるかは考えにくいところでありまして、町内全域回っていただくこととなりますので、そういうことを考えましても、単純にごみの量から振興公社への委託とは結びつかないと考えております。

○議長(泉 敏夫君) ほかに質疑ございませんか。8番、上辻亨議員。

○8番(上辻 亨君) 3款民生費のほうで、付属書のほうでは33ページ、社会福祉推進事業ということで、福祉有償運送事業ということで、説明があったときには利用者が減ったというふうにお聞きしたんですが、減った要因といいましようか、そのことがお聞きしたいです。

○議長(泉 敏夫君) 須川課長。

○保健福祉課長(須川清広君) 減った要因としまして、高齢人口自体も減っています。あと、対象となっていた高齢者等が、要介護認定とか受けた人しか利用できないんですけども、その人たちがもう施設に入ったりして、利用者でなくなったというようなことを要因だと考えております。

○議長(泉 敏夫君) ほかに質疑ございませんか。4番、松山義宗議員。

○4番(松山義宗君) 観光費について伺います。

128、129と次のページにまたがってですが、この中で花火について会場の借り上げ料というのは、ここはどこに支払っていらっしゃるものですか。

○議長(泉 敏夫君) 上山課長。

○企画観光課長(上山富夫君) 会場の借り上げ料、細節では会場借り上げ料となっておりますが、具体的には伊根浦散策トイレの借り上げ料の分でございます。

○議長(泉 敏夫君) 6番、大谷功議員。

○6番(大谷 功君) 付属書の45ページ、2項の児童福祉費で、保育所職員研修等でございますが、研修費が増えるのは大変いいことだというふうに思っておりますけれども、例年になくここが大きく増えておるんです。これは京都府や国なりの指導があったのか、また伊根町の自主的な研

修に入られたのか、そこらをちょっとお聞かせください。

○議長（泉 敏夫君） 須川課長。

○保健福祉課長（須川清広君） この研修費につきましては、住民のいろいろな要望等に応えるために、職員のスキルアップを図るために、自主的に行っているというようなことでございます。

○議長（泉 敏夫君） 1番、和田義清議員。

○1番（和田義清君） すみません、ちょっと基本的なことを教えていただきたいんですけども、決算付属書の42ページに、老人福祉センターの管理運営費として温泉の利用状況を示していただいております。全体的にも増えまして、全協での説明では、昼の利用回数の増も温泉を開放したということで、それが増の要因だというふうにお聞きしました。入湯税を見てみると、入湯税は昨年より若干下がっておるんですけども、これに関しての入湯税は取られていないんですかね。

○議長（泉 敏夫君） 須川課長。

○保健福祉課長（須川清広君） 入湯税のほうは支払っております。温泉の利用につきましては、昨年1,126、今年度1,161、微増でございます。泊泉苑につきましては、利用というのは、各部屋の利用が全体が伸びておるということで、部屋ごとの昼間の利用がかなり増えたというようなことでございます。

○議長（泉 敏夫君） 石野課長。

○住民生活課長（石野 靖君） 老人福祉センターの利用と入湯税の関係でございますが、入湯税は老人福祉センター以外、町内の温泉を持っておられる宿泊所等もありますので、そちらのほうが入湯税に占める割合も非常に多くございます。ですから、老人福祉センターの増える減るではそんなに影響はないかと考えております。

○議長（泉 敏夫君） ほかに質疑ございませんか。4番、松山義宗議員。

○4番（松山義宗君） 132、133、駐車場運営管理費になるんですが、この中の清掃業務で100万ぐらい出ているんですけども、これはどこに清掃を委託されているんですかね。

○議長（泉 敏夫君） 上山課長。

○企画観光課長（上山富夫君） 135ページの106万2,000円の清掃業務の分ですかね。これにつきましては、伊根町ふるさと振興公社に委託をしておる部分と、シルバー人材センターに委託をしておる部分でございます。

○議長（泉 敏夫君） ほかにご質疑ございませんか。6番、大谷功議員。

○6番（大谷 功君） 付属書の74ページ、観光総務管理費で、新たな観光資源の造成ということで、ニジマスとヤマメの放流をされておるんですが、これの内容についてお聞かせ願いたいのと、これを今後どういうふうにご利用されようとしているのか、考えるところがあればお聞かせください。

○議長（泉 敏夫君） 上山課長。

○企画観光課長（上山富夫君） ニジマス、ヤマメの放流という新たな観光資源の造成ということで、具体的には観光協会が行っておる事業について、伊根町はそれらの観光協会に全体を勘案して補助させていただいておるところでございます。事業主体はあくまでも伊根町観光協会というところでございます。観光協会がいろんな戦略をもっているような取り組みをされておりますので、今後ニジマス、ヤマメを活用した取り組みを行っていただけるものだろうというふうに理解をしております。

○議長（泉 敏夫君） ほかに質疑ございませんか。質疑がないようでありますが、これで質疑を終わりたいと思いますが、ご異議ございませんか。1番、和田義清議員。

○議長（泉 敏夫君） 決算付属書20ページの交通安全対策費のところでございます。

全協でお聞きしておりました交通安全の施設設備等で、LEDの交換業務として件数をご説明していただきました。お聞きしておりました何件中何件ぐらいとかいう件数を調べてお知らせいただくということでお答えしていますので、よろしくお願ひします。

○議長（泉 敏夫君） 鍵課長。

○総務課長（鍵 良平君） ただいまご質問をいただきました先般のLEDの交換済み数でございます。

平成29年度末で351基、LEDに交換済みになっておりまして、自治会から報告といたします。

か、LED交換の申請をいただきますときに自治会管理部の数をお知らせいただいております。その部分の合計が563ございまして、町管理が240、集落間の通学路分です、あります。町の分は交換済みの分が74、自治会分が277、順番に申し上げます。

自治会分が563、数を確認させていただいております、そのうち277がLED交換済みです。町が管理しております分が240設置されておまして、74交換済みでございます。合計で803ありますうちの351がLEDに交換されて、残りが蛍光管ということになります。

○議長（泉 敏夫君） ほかにご質疑ございませんか。質疑がないようでありますが、これで質疑を終わりたいと思っておりますが、ご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（泉 敏夫君） 異議なしと認めます。これで質疑を終わります。

続きまして、一般会計歳出の8款土木費から14款予備費までを対象として質疑を行います。質疑ございませんか。5番、山根朝子議員。

○5番（山根朝子君） 決算付属書の85ページの防災備品の一覧ですが、離乳食というのがどれか教えてほしいのと、あと、アレルギー食みたいなものの対応はしなくてもいいんでしょうか。

○議長（泉 敏夫君） 鍵課長。

○総務課長（鍵 良平君） まず、アレルギー食のほうでございますが、マジックライスとして書かれておりますものの中で、わかめご飯がアレルギーフリーのものを用意させていただいております。

また、直接離乳食として保存はできておらないんですけれども、このご飯を柔らかくして対応できる部分もあるかなというふうに現在のところは考えておまして、離乳食専門としては現在のところ整備ができておりません。また、乳児につきましては、粉ミルクが現在ございます。

○議長（泉 敏夫君） 5番、山根朝子議員。

○5番（山根朝子君） ご飯の分をちょっとお湯で温めて柔らかくしてということなんですけれども、やっぱり野菜フレックとかでお湯を入れてちょっととろとろにするというふうな、そういう離乳食用の防災の食品もありますので、少しそういうものも考えていただけたらと思います。

○議長（泉 敏夫君） ほかにご質疑ございませんか。5番、山根朝子議員。

○5番（山根朝子君） 決算付属書の90ページで、コミュニティ・スクール事業で「伊根町の教育」として映像として記録したとあるんですけれども、これは今後どのように活用するか、何かお決まりですか。

○議長（泉 敏夫君） 梅崎次長。

○教育次長（梅崎 良君） コミュニティ・スクール事業の映像記録業務の関係でございますけれども、これにつきましては付属書にも書いてございますように、コミュニティ・スクールが終了しまして、その成果として取り組んだものでございまして、各校に配付をして今後そのビデオを見ていただくという、事業が終わりましたので。それと、この10月12日に全国へき地教育研究大会京都大会がありまして、そのうち12日に伊根町に分科会の会場が設置をされております。その会場でこのビデオの放映をし、伊根町の教育の現状、ふるさと学等について全国の皆さんにお見せしたいという、そのような活用を考えております。

○議長（泉 敏夫君） 1番、和田義清議員。

○1番（和田義清君） 決算付属書75ページ、8款土木費の道路維持管理の町道管理事業のほうで、道路環境の維持を図るため、各区による町道の維持管理に対する報償を支払ったということで、70万5,603円計上されております。これの単価というか、規定とかがもしわかれば教えていただきたいんですけれども。

○議長（泉 敏夫君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） 支払いの根拠としましては、普通作業員の時間当たり単価で作業人数に時間数を掛けてお支払いしておりますので、細かい数字までは今は申し上げられませんが、恐らく1時間当たり900円前後か1,000円にはいっていないと思います。

○議長（泉 敏夫君） 1番、和田義清議員。

○1番（和田義清君） ということは、業者さんがよくやる何mとかじゃなくて、もう作業時間掛

ける作業人数ということでもいいんですね。

○議長（泉 敏夫君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） はい。以前にも議員の皆様や地域の皆様からもう少し単価アップできないかということで、それに機械損耗費も掛けて1割増しぐらいでお支払いしておると思うんですが、それで九百何十円ぐらいになっておると思うんですが、それでもまだもう少しという声があります。実際には単価を掛けて、時間数と人数、2時間したら掛ける2、10人であれば掛ける10という格好でお支払いをしております。

○議長（泉 敏夫君） ほかに質疑ございませんか。質疑がないようであります、これで質疑を終わりたいと思いますが、ご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（泉 敏夫君） 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

続きまして、特別会計の国民健康保険特別会計事業勘定歳入歳出決算を対象として質疑を行います。質疑ございませんか。質疑がないようであります、これで質疑を終わりたいと思いますが、ご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（泉 敏夫君） 異議なしと認めます。これで質疑を終わります。

ここで、10分間の休憩を行います。次、開始が10時半より行いますので、よろしくお願ひします。

休憩 10時20分

再開 10時30分

○議長（泉 敏夫君） 会議を開きます。

次に、国民健康保険特別会計の伊根診療所勘定及び本庄診療所勘定の歳入歳出を対象として質疑を行います。質疑ございませんか。質疑がないようであります、これで質疑を終わりたいと思いますが、ご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（泉 敏夫君） 異議なしと認めます。これで質疑を終わります。

次に、簡易水道特別会計歳入歳出決算を対象として質疑を行います。質疑ございませんか。質疑がないようであります、これで質疑を終わりたいと思いますが、ご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（泉 敏夫君） 異議なしと認めます。これで質疑を終わります。

次に、下水道事業特別会計歳入歳出決算を対象として質疑を行います。質疑ございませんか。質疑がないようであります、これで質疑を終わりたいと思います。ご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（泉 敏夫君） 異議なしと認めます。これで質疑を終わります。

次に、財産区特別会計歳入歳出決算を対象として質疑を行います。質疑ございませんか。質疑がないようであります。これで質疑を終わりたいと思います。ご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（泉 敏夫君） 異議なしと認めます。これで質疑を終わります。

次に、介護保険特別会計保険事業勘定及び介護サービス事業勘定を対象として質疑を行います。5番、山根朝子議員。

○5番（山根朝子君） 決算付属書の135ページに、要介護認定の状況が書かれています。これは要支援から改善した人、いわゆる介護保険から卒業した人というんですか、そういう方はいらっしゃったのか。また、要介護度を更新するときに、総合事業に移行すると前おっしゃっていたと思うんですけども、そういう方は何名かいらっしゃったんですか。

○議長（泉 敏夫君） 須川課長。

○保健福祉課長（須川清広君） 要介護状態が改善された方、ちょっと数字は把握していません。ちょっと資料がないので、後でお答えさせていただいてよろしいでしょうか。

総合事業に移行した方ですけれども、何名かございます。ちょっとそれも数字持っていないので、

また後日お願いしたいと思います。

○議長（泉 敏夫君） ほかに質疑ありませんか。4番、松山義宗議員。

○4番（松山義宗君） 支援事業費の中の包括的支援事業（社会保障充実分）というふうになっているんですけども、当初予算から比べて半分ぐらいが余っているように思うんですが、何かこの事業ができなかったとか、そういったことでしょうか。

314、15の地域支援事業の中の4番です。包括的支援事業（社会保障充実分）で296万に対して163万の支出で、半分ぐらいが余っていると。何か当初予定していた事業ができなかったのか。

○議長（泉 敏夫君） 須川課長。

○保健福祉課長（須川清広君） 事業につきましては、当初予定していた部分については全て行っております。不用額につきましては、個々の積み上げが不用になったものと考えております。

○議長（泉 敏夫君） ほかに質疑ございませんか。質疑がないようではありますが、これで質疑を終わりたいと思いますが、ご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（泉 敏夫君） 異議なしと認めます。これで質疑を終わります。

次に、訪問看護事業特別会計歳入歳出決算を対象として質疑を行います。質疑ございませんか。質疑がないようではありますが、これで質疑を終わりたいと思いますが、ご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（泉 敏夫君） 異議なしと認めます。これで質疑を終わります。

最後に、後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算を対象として質疑を行います。質疑ございませんか。質疑がないようではありますが、これで質疑を終わりたいと思いますが、ご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（泉 敏夫君） 異議なしと認めます。これで質疑を終わります。

以上で、平成29年度歳入歳出決算の全ての会計の質疑が終わりました。

この際、全ての会計を通じて何かご質問等がございましたら、これを受けることにします。一般会計、各特別会計の歳入歳出決算について質疑はありませんか。質疑がないようではありますが、これで質疑を終わりたいと思いますが、ご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（泉 敏夫君） 異議なしと認めます。質疑を終わります。

#### ◎ 散 会

○議長（泉 敏夫君） 以上で本日の日程は全部終了しました。

本日はこれで散会します。

本日で全ての決算質疑が終了しましたので、9月13日に予定しておりました本会議は休会とし、最終日20日は午後1時30分から開催する予定でありますので、よろしく申し上げます。

なお、初めに一般質問から行います。

どうもご苦労さまでした。

散会 10時45分